

エコロジール事例集 イチゴ萎黄病①（埼玉県）

品種：あまりん、べにたま

前作では圃場の端でイチゴ萎黄病が発生していたが、
エコロジール処理後、全調査地点で*Fusarium oxysporum*
（フザリウム・オキシスポラム）が検出限界以下に！

処理条件

※灌水量が正確に把握できないため、希釈倍率と希釈液使用量は推定値

[面積]	約250㎡×8棟	[エコロジール使用量]	約160L/棟
[土壌の種類]	灰色低地土	[希釈倍率]	約100~120倍
[処理期間]	2025/6/12~7/7	[希釈液使用量]	約70~80L/㎡

処理の流れ

方法：被覆後に希釈液を投入

- ①耕うん、整地、均平化
- ②灌水チューブ敷設、被覆、水枕を設置
- ③エコロジールを希釈投入
- ④25日間被覆
- ⑤被覆除去
- ⑥耕うん、元肥投入、畝立て
- ⑦定植

使用資材

- [灌水チューブ] マルチ下用灌水チューブ
- [被覆資材] 農ポリ
- [液肥混入器] 灌水ポンプの吸い込み口手前に
コックを取り付け資材を吸入さ
せる方法

ポイント

水枕には、破れにくい厚めのダクトチューブ
を使用する。

結果

エコロジール処理前

調査方法

調査地点数：12地点

調査深度：

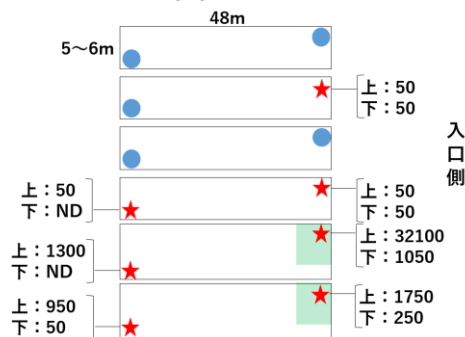
上層：0~30cm

下層：30~60cm

単位：CFU/g土壌

※NDは検出限界以下

Fusarium oxysporum の土壌菌密度



★：*Fusarium oxysporum*が
検出された地点

●：上層・下層とも
*Fusarium oxysporum*が
検出されなかった地点

■：萎黄病発生地点

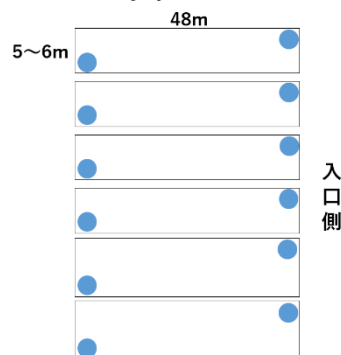
処理前、
7地点で
*Fusarium oxysporum*が
検出された

エコロジール処理後



処理後の栽培の様子（2026/3/9）

Fusarium oxysporum の土壌菌密度



処理後、
全調査地点で、
*Fusarium oxysporum*が
検出限界以下になった

生産者のコメント

これまでは、どうしても圃場端に萎黄病による欠株が発生していたが、
エコロジール処理後はほとんど萎黄病の発生がない。エコロジールを実施してよかった。